

都市住宅学会関西支部 2021 年度通常総会 記念シンポジウム企画案

日時：2021 年 4 月 17 日（土）14 時～17 時

会場：京都府立大学 稲盛記念会館（京都市左京区下鴨半木町 1 - 5）

オンライン同時配信（ZOOM）

子育て支援から考える家族のカタチ

子育て期には、家族、仕事、地域といった社会のあらゆることが「自分のこと」として押し寄せてくる。自分たちにあった「家族」のカタチとは？二地域居住、シェア居住、住み開き・・・等など、従来の「一家族＝一住宅」という形式に囚われず、住まいと家族のカタチを選ぶことも可能な時代となりつつある。新型コロナウイルスの感染拡大は家族と子育て環境にも大きな影響を与えた。災害は社会の格差を拡大すると言われるが、母子世帯をめぐる住宅困窮の現状とは？また、地域で子育てをするために必要なものは何か？子育て支援に関わる実践者、研究者それぞれの具体的な取り組み・事例を通じて家族と子育ての今を見つめ直し、今後のあり方について考える。

開会挨拶・趣旨説明 14 時～14 時 10 分

高田光雄（京都美術工芸大学 教授）

講演 14 時 10 分～15 時 30 分

葛西リサ（追手門学院大学 准教授） 「シンママシェアハウス」の社会的役割のこれから

アサダワタル（文化活動家 / アーティスト、文筆家、社会福祉法人愛成会品川地域連携推進室コミュニティアートディレクター） 住み開き、ホカツ、移住、二拠点・・・変え続ける家族のカタチ

休憩 15 時 30 分～15 時 40 分

話題提供 15 時 40 分～16 時 10 分

宮野順子（武庫川女子大学 准教授） まちと育つー中大江学童保育「にじいろがくどう」

森重幸子（京都美術工芸大学 准教授） 路地を子育ての場の一「五条坂なかにわ路地」

討論 16 時 10 分～17 時

檜谷美恵子（京都府立大学 教授）

三浦研（京都大学 教授）

+ 講演者 2 名

司会進行 前田昌弘（京都大学 准教授）

閉会 17 時